



病院だより

第27号

新城市民病院広報委員会

新城市字北畑32-1

Tel 0536-23-7852 (総務課)

Fax 0536-22-2850 (総務課)

「低温やけど」に気を付けましょう

立春が過ぎ、いよいよ春本番を迎えますが、朝晩の冷え込みはまだまだ厳しい日が続きます。

使い捨てカイロや湯たんぽ、ホットカーペット、コタツなど、寒さ対策として何気なく使っている暖房器具が、使い方によっては「低温やけど」を引き起こす原因となりますので注意が必要です。

やけどは火や熱湯などの高温によるものばかりではありません。

「熱い」でなく「温かい」と感じる温度でも、体の同じ場所を長い時間温めていると低温やけどになるおそれがあります。



疲れが溜まっていたり、飲酒したときなど、気がつくときコタツに入ったまま、あるいはホットカーペットの上で眠り込んでしまうことはありませんか？

低温やけどはその名のとおりの、低い温度でゆっくりと進行してしまつたため、熱さや痛みなどを感じ

じないまま、気がついたときには皮膚の深部まで達するようなやけどになっていることがあります。

体の中で比較的感覺が鈍いとされているのが脚です。冷感性でお悩みの女性や高齢者、糖尿病の方など、皮膚の感覺が鈍くなっている方は低温やけどを起こしやすいといわれています。また、体の不自由な方や乳幼児などは、皮膚に異常を感じても自ら対処できないことがあります。

低温やけどを防ぐためには本人はもちろん、周囲の人が注意を払ってあげるこゝとが大切です。

低温やけどは一見すると皮膚が赤くなる程度の軽いやけどのようでも、実際は重症で、皮膚の奥まで損傷しているケースがあります。重症の場合、皮膚が壊死することもあり、感染予防のために場合によっては皮膚移植の手術などが必要になることもあります。低温やけどの場合、通常のやけどと違い、異常に気がついてから患部を水や氷で冷やしても応急手当の効果があまり期待できません。自己流の手当（自分で水ぶくれを潰したり、何かを塗ったりする）をせず速やかに皮膚科を受診し、医師の指示を受けましょう。



「低温やけど」の予防策

○ 直接肌に触れないように

- ・ 使い捨てカイロは衣類の上に貼る。
- ・ 湯たんぽは厚手の布でできた袋に入れる。

○ 長時間使用しない

- ・ 長時間同じ場所を温めず、暖房器具等の注意書きにある使用時間を必ず守る。
- ・ 使い捨てカイロを貼ったまま眠らない。
- ・ コタツやホットカーペットで眠らない。
- ・ 就寝時にはタイマー設定する。

○ 熱源を押し付けない

- ・ 湯たんぽなどは脚を押し付けるように乗せない。
- ・ 使い捨てカイロを貼った部分にサポーターなどを重ねて圧迫しない。
- ・ 靴下用カイロは靴を脱いだらはずす。

※ 靴下用カイロは酸素の少ない靴の中で使うようにできているので、体の他の場所に使うと、酸化反応が過剰に起こり、高温になるので危険です。

「出前・健康講座」

をご活用ください!



皆さんからの申し込みをお待ちしています。

血圧測定や健康相談なども行います。



【講座のテーマ】

「がんについて」「痔のお話」、「メタボリックシンドローム」、「認知症・ものわすれ」、「子供の病気」など皆さんのご要望に可能な範囲でお応えします。

【講師】

市民病院の医師、看護師、医療技術職員が講師となります。

【その他】

- ・会場は地区の公民館などを御用意ください。
- ・対象人数は10名以上が目安です。
- ・時間帯などは可能な範囲で調整いたします。
- ・1講座の所要時間は1時間から2時間程度です。

【申し込み方法】

費用は無料! 区長さんやグループ代表の方がお申込みください。

※ 実施希望日の3週間前までにお願いします。

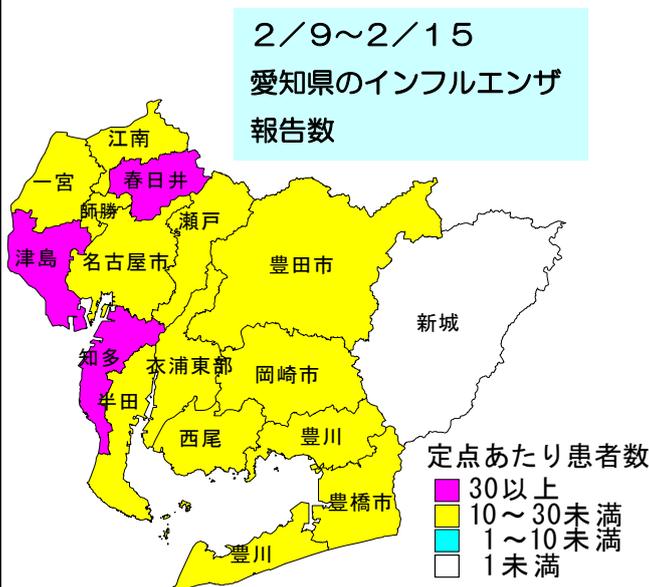
お申込み／お問い合わせ

新城市市民病院

診療運営部長 伊東

経営管理部 総務課 篠宮

電話 23-7852(直通)



市内の学校でもいくつか学級閉鎖となった今シーズンのインフルエンザですが、ようやくピークを越えたようです。2月、第2週のインフルエンザ患者数報告を見ると、新城保健所の管轄内でインフルエンザ患者さんが少なくなっています。

ただ、ピークを超えたといっても、まだまだ多くの方がインフルエンザにかかっています。愛知県内ではインフルエンザ警報がまだ発令中です。

お出かけの際はマスクなどの予防策を忘れずに、帰宅後の手洗い・うがいを徹底しましょう。

インフルエンザ情報